



ねっとわーく広報 第16号



小暑の候、皆様におかれましては益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスと共に存する生活様式にはまだ戸惑いもありますが、世間では徐々に人の往来も増え、日常生活が戻ってきているようにも思えます。今後も3密を避ける等、感染予防に細心の注意を払いつつ、暑さが本格化致しますので体調にはくれぐれもお気を付けてください。

ネットワーク大津(株) 4、5、6月の主な行事

4/15 大豆委託管理費の支払い(令和元年産大豆清算) 5/22 水稻育苗播種作業(前期) 5/28(後期)

5/1 大豆農作業委託申込書配布 6/8 水稻苗出荷開始(6/29 出荷終了)

5/20 作業委託管理費の支払い(令和元年産地資金清算) 6/29 田植え体験

定例取締役会：主な内容について

4/1： 第1号議案 麦わら回収機械導入について

報告事項 ロールベーラー、ラッピングマシーン計2台の導入が承認、可決されました。

報告事項 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策によるオペレーター研修開催中止について

5/1： 新型コロナウイルス対策の為、開催中止。

報告事項 ・田植え農作業委託分の育苗箱洗浄・運搬は、作業員が勤務作業としてタイムカードを打刻し、作業を行ってください。
・上記の内容を追記した農作業料金表を配布。
・NOSAI 共済損害評価野帳の提出(被害調査)について

NOSAI 菊池への被害申告は各集落の共済部長へ報告していましたが、今回の麦から会社で全体を把握し、損害調査野帳でまとめて申告することになりました。

6/1： 第1号議案 外牧集落持株会の譲渡について

報告事項 協議の結果、出席取締役全員賛成で承認、可決されました。

報告事項 ・育苗の納品について
・令和2年産大豆資材・令和3年作付け麦種子注文について

2020年 水稻苗生産実績

5/22 前期（内牧・外牧集落分）423箱生産

ひのひかり：378箱、ヒヨクモチ：45箱

5/28 後期（その他集落分）234箱生産

ひのひかり：131箱、ヒヨクモチ：76箱、夢あおば(密苗 種子量300g)：27箱

5/25～26 前期（内牧・外牧集落分）育苗センターにて夢あおば：3,802箱

6/1～3 後期（その他集落分）育苗センターにて夢あおば：7,662箱生産

6/4 育苗箱全量施肥(本社分) 育苗センターにて夢あおば：746箱生産

(施肥量 1.2kg：707箱 1.3kg：39箱)

総合計 12,867箱



※作業にご協力頂いた皆様、大変お世話になりました。

麦

記録的な暖冬を迎えた本年の麦作でしたが、収穫時期が迫るにあたり朝晩の冷え込みが強く見られた為、収穫作業は例年通りのタイミングとなりました。小麦収穫時期には比較的天候にも恵まれ、当社としても例年より早い段階で麦の収穫作業を終えることができました。また、今回の麦わら回収作業から、酪農用TMRの原料として麦わらの回収作業を開始しました。必要とされる麦わらの総量から、回収面積の拡大を目的に多様な圃場での回収を可能とすべく、比較的コンパクトなロールベーラーとラッピングマシンを導入しました。今年の麦わらは全体的に良く出来ており、当初の回収面積に対して想定以上の回収量となりました。



写真④は今回から回収作業に使用している ロールベーラー。YT357 のけん引で作業に当たり進入口が狭い圃場や道路で活躍しました。

麦わら回収量(回収面積 55ha)
1,200mm 規格 900 ロール
(1 ロール : 200~300kg)
1,000mm 規格 600 ロール
(1 ロール : 100~200kg)



ラッピングを待つロール(一部)の写真。

TMR事業報告

前年度より新規で酪農家向けTMRを製造開始したことで、本年度の製造量は前年度より約3倍増加する見込みとなっています。この数値は当初の事業計画では本年の約3年後を想定した値であることから首尾よく計画が進行しているように感じます。供給農家数も2桁に届き、製造工程にも多様な対応が求められていますが、本年も良品質の製品をご提供できるよう作業に努めて参ります。

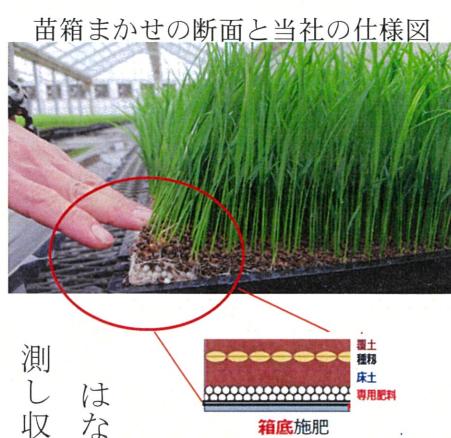


飼料タンクが付いたことで風格が増した当施設。

	TMR生産量	供給農家数
令和元年度	1,200t	10件
令和2年度(計画)	3,600t	10件

水稻育苗

夢あおばの育苗を㈱熊本育苗センターへ全数(密苗除く)委託した本年は、前年の実績とお客様からの意見、専門家からの助言を参考に育苗期間や夜温、灌水量を打合せし、品質改善に挑んだ年となりました。結果、伸びすぎと評価を受けた草丈は抑え、根張りは前年と同様に充実させた苗をご提供できたと思います。また、当社小作地に移植した



夢あおばには、試験的に育苗箱全量施肥の「苗箱まかせ」を使用し、代播き前の肥料散布を行わない作業の省力化に臨みました。当苗は取り組み2年目ということもあり、根張り不足や軟弱徒長等、満足のいく苗とはなりませんでしたが、今後の生育状況を観測し収穫量までを踏まえ検討していくこととなります。また、育苗注文の過半数を占める夢あ



生産数が減少したことで作業にゆとりが生まれ、苗箱並べ機を安定使用出来ました。作業者からの評価は上々の模様。

- ・夢あおばの密苗と乾田直播の試験圃場を設置

当社では、上記「苗箱まかせ」以外にも、



密苗圃場
鍛冶の迫 1997

直播圃場
鍛冶の迫 1998



1ヶ月後



現状では除草剤の効果が表れ条間を始め減少傾向にあります。今後も雑草の状況を観察し、関連される漏水等への対策を講じて参ります。

水稻の栽培技術を確立すべく多様な試験に取り組んでおります。本年の密苗は通常200g(催芽糲)で播種しているところを、1箱の種子量300g(催芽糲)で調整し5月28日に播種しました。当苗は6月24日に密苗対応の田植え機にて移植し、10aあたり8箱の消費量で作業を終えることが出来ました。また、密苗圃場の南で例年継続している乾田直播の試験も行っています。本年はイセキ農機の協力で、5月28日に播種・鎮圧作業を行いました。例年の課題として挙げられる雑草(前作の麦等)に関しては、

種作業に主食用米(自家用米)を注文した集落(主に東部)のご協力で無事作業を終えることが出来ました。お忙しい中、ご協力頂いた構成員の皆様、大変お世話になりました。

3年ぶりの田植え体験

6月29日に、平成

29年から3年ぶり
となる田植え体験
が開催されました。

例年開催時期には
悪天候に見舞われ
やすく今年も開催



日前後が大雨の予
報となっておりま
したが、当日は朝か
ら程良い天気に恵
まれ、絶好の田植え
日和となりました。

参加者は取締役・社員から指導を受け、約5haの面積にヒヨクモチを移植しました。また、今回より田植え体験後の当社による植え直しは行わず、原初の状態で管理を行いますので、今年の稻刈り体験では本当の意味で作物を収穫する実感を味わえるのではないかと思います。体験後には、現代ではなかなか機会の無い泥んこ遊びが行われ、大きな盛り上がりを見せました。開放的に遊べる機会の少なくなつた昨今、子供の感性を育てる一つの場をご提供できればと考えております。

管理課からお知らせ

- 令和2年産栽培管理台帳
(JA菊池 大津中央支所提出用) の提出について

大津中央支所提出用の栽培管理台帳を令和2年産大豆から提出することになりました。大豆の収穫が終わりましたら、ネットワーク大津(株)大豆農作業台帳と合わせて提出をお願いします。

--	--



今後の予定

- | | |
|------|----------------|
| 7/1 | 集落運営費の支払い |
| 7月中旬 | 大豆播種 |
| 7月下旬 | 稲わら契約書の配布 |
| 8月上旬 | 第1回水稻一斉防除 |
| 8月上旬 | 下期監査 |
| 8月上旬 | 農作業委託契約書の取りまとめ |

毎月 第1月曜日 定例取締役会

- | | |
|------|---------------|
| 8月中旬 | 第1回大豆防除 |
| 8月下旬 | 第2回水稻一斉防除 |
| 9月上旬 | 第2回大豆防除 |
| 9/7 | 第8回定期株主総会 |
| 9月下旬 | SGS刈取り・製造作業開始 |
| 9月下旬 | オペレーター研修会 |



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者: 徳永浩二 広報責任者: 右田哲章